



どうして殴るのか？

男性のドメスティック・バイオレンス加害の心理

助け合はずの夫婦間でなぜ暴力が起こってしまうのか…。

その加害者の心理について、少年刑務所での犯罪者更生、児童相談所での虐待親面談と家族再統合実践、DV加害男性等の男性問題相談などを実践している中村教授と一緒に考えてみませんか。

日時

11月13日（木）14：00～15：30
（開場13：30～）

会場

美和文化会館 多目的ホール
あま市花正地先1番地1

その他

託児有（要予約）

連絡先 人権推進課 052-444-0398

【講師】 中村 正（なかむら ただし）氏

現 職 立命館大学大学院応用人間科学研究科教授/産業社会学部教授

主な役職等 内閣府「配偶者からの暴力の加害者更生に関する調査研究会委員」、大阪府、東京都等の女性政策関係委員会委員、京都府DV基本計画策定委員会座長等歴任。
現在、京都府男女共同参画審議会委員、きょうとNPOセンター理事長、京都コミュニティ放送理事・番組審議会委員長等。

著 書 等 『ドメスティック・バイオレンスと家族の病理』（作品社、2001）
『対人援助学の可能性』（福村出版、2010）
『なぜ夫は、愛する妻を殴るのかーバタラーの心理学』
D. ダットン著・中村正訳（作品社）
『虐待者パーソナリティの研究』
D. ダットン著・中村正監訳（明石書店）
『加害者臨床』（日本評論社、2012）